

合唱団ホームページアドレス <http://www.wiengifu.org>

音楽とは 横への感性なり!

3

月号

2020年3月1日  
編集・発行/  
ウィーン岐阜合唱団

## 2020年に馳せる思い

岐阜本部 インспекター 新田 ひとみ

音楽とは横への感性なり!のもと、第23回定期演奏会に向けて、ウィーン岐阜合唱団は心新たに活動を開始しました。

1月号の合唱団ニュースには、昨年関係した行事が紹介されていました。その一つ一つに注ぎ込んだ時間と熱情を思うと、今でも鼓動の高鳴りを覚えます。多忙のなかにも充実した日々の重なりが、間違いなく私たちの志気を高めています。

更に今年の予定を見ると、胸躍るワクワク感と、同じほどの不安感とが交錯します。取り分け「モーツァルトの戴冠ミサ」は、過去にも歌ったことがない新曲です。なかなか良い練習方法が見出せず、あっという間に1週間が過ぎていきます。

練習用CDを幾度となく聴いていますが、合唱団で皆さんと一緒に練習する方が、何倍も体に浸透するのは、私だけでしょうか。先生方の熱心なご指導は、魔術のように私たちの淀みない向上心を駆り立てます。もちろん自主練習あつてのこととして、個が合わさっての集団の力。何を置いてもそこが合唱の魅力です。その魅力に取りつかれ、早くも十数年。

このたび、インспекターをさせていただくことになりました。

主には指揮者・指導者・パートリーダー間の連絡係りとして、皆さんが練習しやすい環境づくりができたかと考えています。微力ではありますが、務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

さて、今年はネコに追われるネズミの年ですが、“ひふみんのニャンぶらり”というテレビ番

組でのエピソードを紹介します。

将棋界きっての音楽好きのひふみんがお宅訪問をして、飼主の代わりにネコの気持ちを探ります。

ネコと心を通わせるひふみんの一手は、自ら選曲したクラシックを聴かせることでした。あるときはメンデルスゾーンバイオリン協奏曲。あるときはチャイコフスキー。さて、その日は「キーリエ キーリエ エレイソン…」聴こえてくるのは、正しくモーツァルトの戴冠ミサ。あらびっくり!

これでネコちゃんの本音が読み取れたかは、定かではありませんが、この難曲を私より先にネコちゃんに習得されては一大事。

頑張ろっと、密かな闘志が燃えました。

新しいことへのチャレンジは、誰しもが躊躇しがちです。ところが、そのチャンスはいつも自分の周りを回っている気がします。乗るか乗らないかは自分次第なのです。そんな思いを抱いて、期待が膨らむ2020年は、春の合宿を始めとする数々の行事が予定されています。毎週の練習はもとより、関連行事にもご都合がつく限り参加していただいて、団員間の交流を深めていけたらと願っています。

まずは自分自身が楽しむことが、根底になければなりません。

ウィーン岐阜合唱団での心動かす体験は、人生を楽しく豊かにしてくれると信じます。

大切なのは、一人の百歩より百人の一步! 繁栄と成長を象徴する子年にふさわしく、難曲大曲にも、皆様とワンチームで励んでいきたいと思ます。どうぞよろしく願いいたします。

## 心のハーモニーを創る

岐阜本部アルト パートリーダー 山本 孝子

私は、アルトというパートは、ハーモニー創りを一番楽しめるパートだと思っています。

和音の響きは、とても美しく感動的なものです。その響きを創るのは、とても難しく、醍醐味のある活動です。正確な音程だけではなく、発声や音量のバランス、楽曲に込める心情など、多くの要素を団員が共有して表現した時に、歌うメンバー固有のハーモニーが響くことになります。正確な音程であっても「水と油」のように、個を主張するばかりでハーモニーの生まれにくい音質があります。より感動的なハーモニーが歌う人と聴いて下さる方の双方に響き合う時には、ホールとも共鳴していると聞いたことがあります。人の身体だけでなく、ホールもまた、楽器の一部です。よく響く身体を使って、ホールにハーモニーを響かせる楽しさを生み出すことができる瞬間こそ、至福の時です。

また、一つの音がつ長調と短調の和音を構成している音の役割を考えたり、作曲家の心に触れたりしながら歌うとき、使命感にも似たアルトの役割を感じます。時には、中音域や低音域の発声はとても難しく、響き合わない発声をしていることに、はっとすることがあります。そんな葛藤もまた、アルトの楽しさです。

明るい響きは、喜びや感動を創り出し、暗い響きは、不安や悲しみ、人生の葛藤や苦悩を表し、心を揺さぶります。時には、願い、祈り、怒り、嘆きながら、心の叫びやつぶやきを音としてハーモニーを創ることができて、合唱は面白いです。

合唱団を支えて、すてきな雰囲気を作り出して下さっている皆様に感謝しています。私のできそうなことをみつけて、心のハーモニー創りをしつつ、合唱を楽しみたいと思っています。

## 素晴らしい感動を！団員の皆様とともに

岐阜本部ソプラノ パートリーダー 白井 とみ子

ウィーン岐阜合唱団に入団して6年が経ちました。「定期演奏会」や「第九演奏会」に登壇し、一生懸命練習した曲を合唱団の仲間と一諸に歌い、観客の皆さんから大きな拍手を頂き感動を味わうことを私は何回も経験させてもらいました。

平光先生の熱心なご指導（もう1回、もう1回と繰り返し）のお陰で人前に立つと緊張してしまう私ですが、しっかり練習でき本番に臨み歌い終えることが出来ました。

入団して最初の頃は、歌う時の姿勢や声の出し方など全くできなくて、全身に力が入ったり、喉から声を出していたので、痰が絡んだり、肩こりが続いたりで

大変でした。練習時に録音したボイスレコーダーから聴こえてくる周囲の皆さんの綺麗な声の中に「ん、？」というような声が混じり、これが自分の声とは認められなかったのですが、・・・ 「最初は、私たちもあまり声でてなかったよ。第九はもっと大変だよ」と、温かい言葉を掛けてくださる先輩があり、とても心強かったです。特に、パートリーダーの新田さんには、長い間隣の席に座って頂いて、色々お世話になりました。

今度ソプラノのパートリーダーをやらせて頂くことになりましたが、歌うことには余りお力になれないかと思いますが、皆さんに少しでも、寄り添えるように努力させていただきます。慣れない私ですが、頑張りますので宜しくお願いいたします。

## 第21回ウィーン岐阜合唱団 第九演奏会

## 「ベートーヴェンの高みに近づいて」 岐阜本部 テノール 菱川 曉夫

長良川国際会議場サラサーラ。私たち 21 回目の第九演奏会。個人的には 28 年前の各務原第九を初体験とし、それから数年平光オケのお手伝いしながら、あるいは他の応援などで第九を歌い、20 年のブランクを経て 2 年前にウィーン岐阜合唱団に入団させていただいて、昨年末は 11 回目の本番を経験しました。その 11 回目の第九を歌った感激は、あの魂を揺さぶった初第九への想いを凌駕するものでした。

「第 21 回第九演奏会」演奏会当日、男声陣の皆さんと早朝の舞台造りを完了し、第一部のゲネプロが始まった。そのころ女声陣もお客さんの迎え入れ準備を完了させ、合唱団はホワイエに集合し声出し開始。音楽堂のホワイエは建物の構造からきわめて反響が大きく、「自惚れの間」でもありはしますが、もうここで感極まってしまいました。

313 小節 G からの *Küsse gab sie uns und Reben*…330 小節 vor Gott のフェルマター4 声、ホワイエでの響き。そしてそれは、627 小節からの *Adagio ma non troppo, ma divoto* 変ロ長調 2 分の 3 拍子の、平光先生が「地球発信」と名付け、5 指を順番に折って指揮してくださる *Ihr, stürzt nieder* に引き継がれ、その最後、654 小節の *wohnen* のフェルマターの 4 声に通じてゆくように感じます。そこは「創造主の予感」への祈りであるから、神の世界への地球からの祈りの発信なんだろうと。

第 4 楽章 655 小節目からはドッペルフーガと呼ばれます。ドッペルはドッペルゲンガーとおなじく二重とか分身の意。フーガは遁走で音楽の場合旋律の追いかけてこのことで、前に出た主題や旋律が次々と追いかけてこに興じます。「カエルの合唱」子供のころこれで追っかけてこして遊びましたよね。メロディーがメロディーを追いかけた横のつながりと、その瞬間をどこで切ってもきれいにハマります。そこは縦のつながりかな。

第九では勿論、最高に複雑です。4 声が複雑に入り乱れながら、第 1 テーマと第 2 テーマの 2 つの旋律と、そこから発展したメロディーをそれぞれ主張しつつ響かせ、6/4 拍子ツツツツ、ツツツツ、タカタカタカ、タカタカタカの 3 拍子ビートを維持したまま弦が奏でることのできる最高速で、762 小節の「超超フェルマター」の「愛」に向かって融合してゆきます。そこでは肺に一粒の酸素も消費つくし、死にそうに息も絶え絶えに、でも宇宙？偉大なもの？許しの総体？の愛に、抱かれてゆくような恍惚感に包まれます。

この 3 つのフェルマター、1 つ目は前提であり、2 つ目は予感、3 つ目は確信の響きに聴こえます。そうやってベートーヴェン先生の指定では 2 部音符=132 の超高速の 851 小節のプレスティシモ Prestissimo ニ長調 2 分の 2 拍子になだれ込みます。超高速です。Freude schöner Götterfunken と堰を切るように歌を追込みます。このシラーの詩、Götter は神々と訳されます。funken はスパークのこと、喜べ神々(と)の饗宴といったところでしょうか。シラーもベートーヴェンももとをたせばゲルマン民族の末裔でありましょう。ゲルマン人は多神教であり日本の源宗教との共通項が、例えば先祖を大事にすることや巨木信仰など、たくさんあります。日本人の第九好きはこんなところにも理由があると思います。そのフィナーレを超超高速で駆け抜けます。神々の御座す世界に人々がみな兄弟となり手をつないでそこに行くに、それだけの速度、宇宙速度を、第九だけに第九宇宙速度獲得のための助走なんだと。地球脱出は第 2 宇宙速度、太陽系脱出には第 3 宇宙速度を必要としますから、神の国に到達するには第九宇宙速度はあながち間違いではないかもしれませぬ(笑)。

ホワイエの声出しで極まってしまい、ゲネプロで涙し、感極まってしまったら歌えなく、本番では必死に堪えて、力いっぱい歌いきった。そのうえオケもソプラノ、アルト、バリトンの他の音声も自分に飛び込んでくるんです。本番舞台であんなに他のパートが聞こえたのも、それにのせて自分のパートを歌いきれたのも初体験。劣等生をあそこまで引っ張ってくださった合唱団の皆さん、そして平光先生はじめ指導陣の皆さん本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

ベートーヴェンは 3 番エロイカの前ぐらいから難聴を患い、第九のときには全く聞こえていませんでした。それに当時不治の病の黄疸、肝硬変となり死を目の前の問題として意識します。難聴で自殺まで考えたベートーヴェンは、そのことで返って前人未踏の大作に挑むことになりました。難聴がなければ、肝硬変を患ってなかったら、私達はこの至高の贈りものに触れることはできなかったことでしょう。神さまという運命の悪戯なののでしょうか。残り時間に(笑)なにも生みだせない私としては、しっかりシッカリそこにある至高のものに近づけたらと思うのです。今年はベートーヴェン生誕から 250 年を迎えます。今年の第九演奏会もまた、更に素晴らしいものとなりますように。本当に音楽って素敵ですね。

# 3～5 月練習予定

練習時間は 8:45～20:45 です(18:30 までに集合しましょう)

月 日	岐 阜	月 日	大 垣
3月 5日(木)	長森コミュニティーセンター	3月 6日(金)	大垣市南地区センター
3月 12日(木)	長森コミュニティーセンター	3月 13日(金)	大垣市南地区センター
3月 19日(木)	岐阜市北部コミュニティーセンター	3月 20日(金)	大垣市南地区センター
3月 26日(木)	長森コミュニティーセンター	3月 27日(金)	大垣市南地区センター
4月 2日(木)	長森コミュニティーセンター	4月 3日(金)	大垣市南地区センター
4月 9日(木)	長森コミュニティーセンター	4月 10日(金)	大垣市南地区センター
4月 16日(木)	長森コミュニティーセンター	4月 17日(金)	大垣市南地区センター
4月 23日(木)	長森コミュニティーセンター	4月 24日(金)	大垣市南地区センター
5月 7日(木)	岩野田北公民館	5月 8日(金)	大垣市南地区センター
5月 14日(木)	長森コミュニティーセンター	5月 15日(金)	大垣市南地区センター
5月 21日(木)	長森コミュニティーセンター	4月 22日(金)	大垣市南地区センター
5月 28日(木)	長森コミュニティーセンター	4月 29日(金)	大垣市南地区センター

## お花見コンサート



●期 日 : 2020年3月29日(日)

●場 所 : ウィーン岐阜ホール(ときめき)

各務原市蘇原花園町2丁目66番12 (TEL058-383-7335)

●出演者 : 声楽: 伴 和子 チェロ: 山田真吾 ピアノ: 平光 保

●時 間

●コンサート: AM11:00～12:15(費用:2,000円)

●宴 会: 12:45 (2,000円)

●お花見: 15:30頃から(桜の名所: 境川河畔散策)



◆お申込み: お問い合わせ先:

岐阜・大垣とも 臼井礼子さん迄 携帯 090-9906-8100

### プログラム

◆チェロ:

- ・愛のあいさつ:..... エルガー
- ・白鳥:..... サン・サーンス
- ・アリオート:..... バッハ
- ・無伴奏組曲より:..... バッハ

◆ピアノ・チェロ:

- ・ピアノソナタ op13 「悲愴」(第2楽章):..... ベートーヴェン
- ・ピアノソナタ op27 No.2 「月光」(第1楽章):..... ベートーヴェン

(編曲: 平光 保)

◆声楽:

- ・ボカリーズ:..... ラフマニノフ
- ・かあさんだけは忘れない:..... 平光 保
- ・メモリー:..... ウェーバー
- ・「サムソンとデリラ」より  
“あなたの声に心は開く”:サン・サーンス
- ・鳥の歌:..... カザルス